



29 南東北インターハイ NEWS

H28. 9. 13 No.16

「2016 情熱疾走 中国総体」優勝報告!!



学法石川高校

陸上競技 男子1500m優勝!! 遠藤 日向選手

自転車競技 スクラッチ優勝!! 根本 雄真選手



県知事表敬



県教育長表敬

左:遠藤日向選手 右:根本雄真選手

『中国総体2016』の陸上競技男子1500mで優勝した遠藤日向選手（学法石川高校）と同校、自転車競技スクラッチで優勝した根本雄真選手が8月22日（月）に優勝報告のため県庁を訪れ、内堀雅雄県知事や鈴木淳一県教育長と懇談をしました。森 涼校長、陸上部顧問 松田和宏教諭、自転車競技部顧問 矢吹靖弘教諭と一緒に訪れました。懇談の中で、遠藤選手は「中国総体では1500mと5000mの両種目で二冠を狙っていた。ここ23年間で5000mでは日本人の優勝者がいなかったということもあり、自分が記録を塗り替えようと思っていたので3位で終わって悔しい。国体の5000mでは、2年前に樹立した高校記録を更新して二連覇をかけて頑張りたいと思う。」と次の大会を見据えていました。根本選手は、「日頃から親が車で練習に付き合ってくれた。また、先生方からのアドバイスや大会での課題を着実に消化してきた結果だと思う。駆け引きでは苦戦したが、その場の風や場の雰囲気を読んでレース展開ができた。これからマークが厳しくなると予想されるが、それでも勝てる選手になりたい。日本だけでなく、アジアや世界で活躍したいと思う。」と抱負を語ってくれました。森校長は「感動をもらい、嬉しく思う。」と話しました。松田和宏教諭は、「直前までU20世界大会に出場したため、時差や気候の差がある中、直接中国総体へ向かうというタイトなスケジュールであった。よく頑張ってくれたと思う。」と労いの言葉をかけました。矢吹靖弘教諭は、「春の選抜大会では同種目での予選で敗退した悔しさをばねに練習に取り組んできた。昨年の優勝した先輩たちと練習をしていたので、本人の気持ちの中で精神面での成長もみられた。自主練も工夫し自分で考えて、そして厳しい練習に耐えてきた努力の賜物である。」と称えました。4年後の大舞台で戦っている、彼らの姿に期待が高まります。

富岡・ふたば未来学園高校

バドミントン競技 **女子団体優勝!!**

永井選手・福本選手・吾妻選手・由良選手・高橋選手・仁平選手・水井選手

バドミントン競技 **男子シングルス優勝!!** 山沢 直貴選手

バドミントン競技 **女子シングルス優勝!!** 仁平 菜月選手



富岡・ふたば未来学園高校バドミントン部員



左:大堀監督 右:山沢直貴選手



左:大堀監督 右:仁平菜月選手

福島工業高校

ウェイトリフティング競技 **77kg級** 穴戸 大輔選手

スナッチ・クリーン&ジャーク・トータル完全優勝!!



競技を行う穴戸大輔選手



表彰を受ける穴戸大輔選手(左)

「美しく咲け 君の笑顔と努力の華」のスローガンのもと、平成28年7月26日(火)から8月20日(土)までの26日間にわたって行われた中国総体が幕を閉じました。各競技において熱い戦いを繰り広げ見ている人を感動させてくれました。また、その大会を成功させるために地元の高校生が企画・準備・運営などで様々な場面で活躍していました。

来年度は、いよいよ南東北総体です。「繋がる絆 魅せよう僕らの若き力」のスローガンのとおり、南東北北三県(山形県・宮城県・福島県)の高校生が一丸となって、地元開催インターハイを成功させましょう。

今後のPRイベント等の予定!!

南東北インターハイカウントダウンイベント in 山形!!

山形県高校生活動推進委員会が中心となり、宮城県・福島県の三県合同で開催するイベントです。本県の高校生活動推進委員も参加します。

日時：12月11日（日）

場所：山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング

山形市平久保100番地 023-635-3100

JR山形駅から「県立中央病院」行き「ビッグウイング前」下車

内容：ステージイベント、「友情の花の種」伝達式、各県紹介ブースなど

平成28年度「ふくしまで一緒にやろう！」プロジェクト!!

福島県高体連フェンシング専門部

国際審判員の佐藤公良氏をお迎えして、7月24日（日）～7月25日（月）の2日間、県立川俣高校第二体育館にて茨城県立下館工業高校との交流試合を実施しました。県外高校生7名、県外指導者3名、県内指導者・選手33名、計43名が参加しました。佐藤公良氏より実技をふまえて高校生でありがちな違反行為やルールの確認のご指導頂きました。選手たちからも積極的に質問があがり今まで曖昧だったルールが明確になりました。種目別指導では、下館工業高校外部指導者よりサーブルの指導をして頂き、有意義な時間となりました



国際審判員による指導



サーブル指導

福島県高体連ボート専門部

7月19日（火）～7月26日（火）の8日間、岩手県立宮古高校を招聘して強化合宿を実施しました。

県営荻野漕艇場にて、タイムトライアルを主としたトレーニングでインターハイ前の最終確認を行いました。FISA2016世界ジュニア選手権日本代表の県立田村高校の石塚慎之助選手も合宿に参加し、石塚選手の実技に参加者全員から思わず感嘆の声が上がりました。目の前で目標とするパフォーマンスが見る事ができ、選手たちの意気も揚がりました。指導者の資質向上の機会として指導者間のワークショップを行い、情報交換などを行いました。宿舎の民宿から「馬刺し」や「こづゆ」などの郷土料理が提供され、参加者も強化合宿の中で福島県を感じることができたようです。ボート専門部として、「ふくしまで一緒にやろう！」プロジェクトの実施は3年目となりますが、インターハイで入賞する選手が育ってきており、招聘した県外チームでは優勝を成し遂げた学校や連続入賞する学校も出てきています。来年度の南東北総体では、今年以上の成果を出したいと思います。



タイムトライアルの練習風景



参加者全員での記念撮影

29南東北カウントダウンルー in 福島

今回のカウントダウン「絆リレー」は

9/1 学法福島高校 9/4 福島成蹊高校 9/10 桜の聖母学院高校 9/13 福島東稜高校 の4校です。
*福島県 Twitter と公式ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

学法福島高校実行委員会の皆さん(9/1)



県北地区の推進委員会では、「ハンドボール競技」「バスケットボール競技」「ウエイトリフティング競技」への協力を行っています。また、本校ではインターハイPR活動として、お昼休みの校内放送・ティッシュの配布・ポスター掲示などを行ってみんなに南東北インターハイを知ってもらうよう活動しています。

福島成蹊高校実行委員会の皆さん(9/4)



平成29年度全国高等学校総合体育大会において、福島成蹊高等学校はインターハイの会場となっており、バスケットボール競技が行われます。開催まで残り一年を切りました。成蹊高等学校では、8月のオープンキャンパスや昨年度の2月に開催した「ふれあいコンサート」でインターハイのPR活動をしました。今後は、ポケットティッシュの配付や駅前での自主制作チラシでの宣伝を行う予定です。みんなで力を合わせてインターハイを盛り上げていこうという委員全員の姿勢が、カウントダウンボードに込められています。

桜の聖母学院高校実行委員会の皆さん(9/10)



桜の聖母学院高等学校推進委員会では、南東北総体のポスターを校内の掲示板上に掲示し、全校生徒の大会への関心を高めています。また、毎年秋頃に行われる文化祭ではご来場いただいた保護者の皆様、地域の皆様にもPR活動をしていきたいと考えています。来年度へ向けて、またさらに大会開催を盛り上げられるよう、活動していきます。

福島東稜高校実行委員会の皆さん(9/13)



福島東稜高等学校と高校生活動学校推進委員会では、今年度の選手壮行会を活用して、次年度の「南東北インターハイ」のPR活動を行いました。私たちの学校がある福島市では、バスケットボール・ハンドボール・ウエイトリフティングが行われます。本校のバスケットボール部は26年、27年と連続でインターハイに出場しており、地元開催の中でのインターハイ出場の期待が高まっています。

次回のカウントダウン「絆リレー」の出演は

9/20 聖光学院高校 9/24 安積高校 9/27 安積黎明高校 10/4 郡山東高校
10/9 郡山商業高校 10/14 郡山北工業高校 の6校です。

各校でどんな活動をしているか、これからどんな活動予定があるか楽しみにしててください。



問い合わせ先 福島県教育庁健康教育課全国高校総体推進室
〒960-8043 福島市中町8番2号 県自治会館3階 Tel: 024 (521) 8672